

## 令和5年度 甲府市立舞鶴小学校 学校評価 考察

※評価は、教職員及び児童は4段階評価、保護者は5段階評価である。「1」「2」を肯定的評価とした。

1：十分できている（とても）    2：おおむねできている（まあまあ）    3：やや課題がある（あまり）    4：課題がある（ない）

※設問ごとの数値（％）については、小数点以下第2位を四捨五入している。また、保護者アンケートについては、「5 わからない」を表に記入していないため、総計が100%にならない項目がある。

### 1 学校教育目標

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目                                 | 1   | 2    | 3   | 4   | 肯定的 |
|-----|-----|----|--------------------------------------|-----|------|-----|-----|-----|
| 1   | 教職員 | 1  | 学校教育目標の具現化に向けて、共通理解をもって教育実践に取り組んでいる。 | 7.7 | 92.3 | 0.0 | 0.0 | 100 |

#### <考察>

・学校教育目標や今年度の重点に基づき、教職員で共通理解を図りながら児童の育成を行った。特に、重点である「ICT活用能力の育成」については、校内研究の主題を『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり～情報活用能力の育成を目指して～に設定し、全体で情報活用能力の育成に向けた研究を進め、発達段階に応じた指導につなげることができた。学習指導、生徒指導ともに、教職員で情報を共有しながら指導や支援を行っている。今後も、児童の充実した教育活動に向けて教職員が力を合わせて取り組んでいきたい。

### 2 学力向上

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目  | 1    | 2    | 3    | 4   | 肯定的  |
|-----|-----|----|---|------|------|------|-----|------|
| 2   | 教職員 | 2  | 確かな学力の育成・言語活動の充実について職員間で共通認識をもち、取り組んでいる。          | 15.4 | 80.8 | 0.0  | 3.8 | 96.2 |
| 3   | 教職員 | 3  | 関心を引き起こし、興味を意欲に変える教材や学習方法を工夫し、学ぶ楽しさを体験するようにしている。  | 19.2 | 80.8 | 0.0  | 0.0 | 100  |
|     | 保護者 | 1  | 学校は教材や学習方法を工夫して分かりやすい授業づくりに努めていますか。               | 36.8 | 55.8 | 3.5  | 1.3 | 92.6 |
|     | 児童  | 1  | 勉強はよくわかりますか。                                      | 61.7 | 35.1 | 2.8  | 0.3 | 96.8 |
| 4   | 教職員 | 4  | 「主体的・対話的で深い学び（特に学び合いの学習）」の指導に努めている。               | 15.4 | 69.2 | 15.4 | 0.0 | 84.6 |
|     | 保護者 | 2  | 学校は児童が進んで学習する態度が育つように取り組んでいますか。                   | 34.6 | 52.8 | 6.5  | 1.3 | 87.4 |
|     | 児童  | 2  | 授業中は話を聞いていますか。                                    | 68.7 | 30.1 | 1.3  | 0.0 | 98.8 |
|     | 児童  | 3  | 授業中に考えたことを、友だちと話し合うことはできましたか。                     | 56.6 | 33.5 | 8.2  | 1.6 | 90.1 |
| 5   | 教職員 | 5  | 総合的な学習の時間と各教科等、教科横断的な視点で関連させた学習を取り入れている。          | 7.7  | 73.1 | 19.2 | 0.0 | 80.8 |
| 6   | 教職員 | 6  | 体験的・問題解決的な学習、地域の人的・物的資源を活用することを通して自己学習力の育成を図っている。 | 7.7  | 76.9 | 15.4 | 0.0 | 84.6 |

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目  | 1    | 2    | 3    | 4   | 肯定的  |
|-----|-----|----|---|------|------|------|-----|------|
| 7   | 教職員 | 7  | 有効な読書活動の推進が確保されている。                                       | 69.2 | 30.8 | 0.0  | 0.0 | 100  |
|     | 保護者 | 3  | 学校は朝の本読みなど読書活動に力を入れていますか。                                 | 40.3 | 49.4 | 3.5  | 0.4 | 89.7 |
|     | 児童  | 4  | 本を読むことは、好きですか。  | 62.0 | 30.7 | 6.0  | 1.3 | 92.7 |
| 8   | 教職員 | 8  | 道徳性を養う指導の充実と思いやる心の醸成、生き方指導の充実を図っている。                      | 11.5 | 80.8 | 3.8  | 3.8 | 92.3 |
|     | 保護者 | 4  | 学校は命を大切にし、思いやる心を育てるなど道徳性を高める努力をしていると思いますか。                | 42.0 | 45.0 | 4.8  | 1.3 | 87.0 |
| 9   | 教職員 | 9  | 積極的に ICT 機器を活用したり、クロームブックを使用した授業を展開したりするなど、情報教育の推進に努めている。 | 11.5 | 69.2 | 19.2 | 0.0 | 80.7 |
|     | 保護者 | 5  | 学校はクロームブックを授業の中に取り入れ、学習を進めていますか。                          | 41.6 | 47.2 | 7.4  | 1.7 | 88.8 |
|     | 児童  | 5  | クロームブックを使った勉強は楽しいですか。                                     | 76.6 | 22.2 | 1.3  | 0.0 | 98.8 |

### <考察>

#### 【No. 2、NO. 3、No. 4】

- 本校は、昨年度まで2年間、「甲府の子ども教育推進校」の指定を受けるなかで、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを行い、確かな学力の向上を目指してきた。今年度の全国学力・学習状況調査では、国語、算数ともに全国平均を上回る結果となり、児童の学習の定着が図られていると言える。児童の関心や意欲を高める授業づくりや、学び合いを大切にした学習活動の工夫によって、「勉強がよく分かる」と回答した児童は多い。学び合いについて、「やや課題がある」と回答した教員もいるため、校内研究を中心に、継続した授業改善を図っていきたい。

#### 【No. 5、No. 6】

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染状況も落ち着いたことから、生活科や総合的な学習の時間において地域の方々や外部講師による授業を実施することができ、教育活動の充実につながった。また、今年度から学校運営協議会を設置し、「学習支援」「行事支援」「安全支援」の3つの支援をいただいている。保護者による読み聞かせボランティアや登下校の地域の見守りの他、11月の「まいづるまつり」においてチャレンジ集会や親子講演会への協力をいただいた。学校運営協議会の協力を得ながら、教育課程における地域の人的、物的資源の活用により、さらなる教育の充実を図っていく。

#### 【No. 7、No. 8】

- 図書委員や教職員による読み聞かせ活動や読書郵便等、図書委員会を中心に年間を通じて読書活動の推進を目指した取組を実施し、読書が好きな児童が育っている。保護者による読み聞かせも定期的に行っている。家庭での会話に本の話が出てくること、家庭での読書習慣につながっていることなど、保護者からも肯定的な回答が多い。また、読書活動は、児童の豊かな心の育成にもつながっている。思いやる心の醸成に向け、道徳の授業を要とし、読書活動を含め教育活動全体を通して道徳教育を推進していく。

#### 【No. 9】

- 「情報教育」について、校内研究や校内研修の充実を図り、組織として情報教育の推進に取り組むことで成果につながっている。一人一台端末を活用した授業について、児童は楽しく取り組んでいる様子が見える。一人一台端末については授業における活用の他に、毎週水曜日と長期休業中に家に持ち帰り、家庭学習で活用している。家庭学習における一人一台端末の活用を増やしてほしいという意見もあったが、今後、児童の実態を踏まえ、授業と家庭学習とを有機的に結び付けながら、一人一台端末の利活用について考えていく。

### 3 生活指導

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目  | 1    | 2    | 3    | 4   | 肯定的  |
|-----|-----|----|---|------|------|------|-----|------|
| 10  | 教職員 | 10 | いじめ、不登校をはじめ児童の問題に対し、自他の個性を尊重し合う心や、好ましい人間関係の育成ができるようにしている。 | 15.4 | 73.1 | 11.5 | 0.0 | 88.5 |
|     | 保護者 | 7  | 学校は子どもたちの人間関係を把握し、一人ひとりを大切にしていますか。                        | 39.0 | 45.0 | 7.4  | 3.5 | 84.0 |
|     | 保護者 | 8  | 学校は行事を通して友だち同士のふれあいを大切にしていますか。                            | 48.5 | 46.3 | 3.5  | 0.9 | 94.8 |
|     | 児童  | 6  | 学校は楽しいですか。  | 64.2 | 30.1 | 3.8  | 1.9 | 94.3 |
|     | 児童  | 7  | 友達に親切にしたり、よいことを進んでしたりしていますか。                              | 63.6 | 33.9 | 2.2  | 0.3 | 97.5 |
|     | 児童  | 8  | 友達をいじめたりすることなく、なかよくできましたか。                                | 78.8 | 19.6 | 1.6  | 0.0 | 98.4 |
|     | 児童  | 9  | 困ったときにだれかに相談することができましたか。                                  | 57.6 | 33.2 | 6.6  | 2.5 | 90.8 |
| 11  | 教職員 | 11 | あいさつ運動を推進している。  | 19.2 | 73.1 | 7.7  | 0.0 | 92.3 |
|     | 保護者 | 6  | 学校はあいさつ運動を進め、あいさつのできる児童の育成に努めていますか。                       | 43.7 | 41.1 | 9.1  | 3.5 | 84.8 |
|     | 児童  | 10 | 自分からあいさつができましたか。  | 60.1 | 28.2 | 8.2  | 3.5 | 88.3 |
| 12  | 教職員 | 12 | 「無言清掃」を中心に、適切でよりよい習慣化を図る清掃指導を行っている。                       | 11.5 | 65.4 | 19.2 | 3.8 | 96.9 |
|     | 保護者 | 9  | 学校は掃除の指導に力を入れていますか。                                       | 41.6 | 39.0 | 4.3  | 0.0 | 80.6 |
|     | 児童  | 11 | そうじをがんばっていますか。  | 73.7 | 25.0 | 0.9  | 0.3 | 98.7 |

#### <考察>

##### 【No. 10】

- ・友だちアンケートやQ-U（学校生活における満足度や意欲等を調べるアンケート）を実施し、児童一人一人や学級の様子を把握して指導や支援につなげている。児童の9割以上が、「学校は楽しい」と回答している。これからも、学級を基盤とし温かい人間関係を築くなかで、安心して学校生活を送ることができるよう、継続した指導や支援を行っていく。また、家庭との連携を図り、養護教諭やスクールカウンセラーとの情報共有も行いながら相談支援体制を築いていく。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、今年度は、運動会の全校一斉開催や「まいづるまつり」等の学校行事を行うことができた。これらを通して、全校児童のふれあいや活躍の場が増え、学校や児童の様子を家庭に伝えることもできた。

##### 【No. 11】

- ・「あいさつ」について、今年度も児童会活動や地域連携あいさつ運動等、取組の充実を図ってきた。保護者の記述では、旗振りの際、登校する児童があいさつをしないことへの指摘が多い。一方で、地域の方から、爽やかなあいさつが素晴らしいとの声もあった。あいさつ運動の取組は一定の成果を得ているため、取組を継続しながら、あいさつをする意味等、児童に伝えていく必要がある。

##### 【No. 12】

- ・本校では「無言清掃」を行っている。掃除について児童によって意識の違いも見られることから、掃除を通して心が育つように指導をしていく必要がある。また、他の項目に比べて「わからない」と回答した保護者も多かったことから、学校での活動の様子が家庭にも伝わるよう、ホームページ等で情報を発信していく。

#### 4 特別支援教育

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目   | 1    | 2    | 3   | 4   | 肯定的  |
|-----|-----|----|--|------|------|-----|-----|------|
| 13  | 教職員 | 13 | 特別支援コーディネーターを中心として特別支援校内委員会を開催し、情報交換と指導の一体化を図っている。 | 42.3 | 53.8 | 3.8 | 0.0 | 96.1 |

#### <考察>

- ・「特別支援教育」について、校内委員会を学期に一度実施し、必要に応じて関係者会議を開催して、教職員で情報共有し児童の支援を行っている。また、今年度は特別支援コーディネーターによる学習会や中学校区における講演会を通じて、特別支援教育について全体で学ぶことができた。また、スクールカウンセラーが学級を訪問し学級や児童の様子を見ることで、専門的な視点から助言をもらうことができている。今後は、児童や家庭への適切な支援につなげるため、専門機関等との連携を迅速に図れるように体制を整えていく。新年度、担任が変わっても継続した指導や支援が行えるよう、確実に引き継ぎをしていく。

#### 5 保健・衛生・健康

|    | 評価者 | 番号 | 質問項目                                  | 1    | 2    | 3    | 4   | 肯定的  |
|----|-----|----|---------------------------------------|------|------|------|-----|------|
| 14 | 教職員 | 14 | 保健指導や保健学習を継続して行い、病気やけがの防止に努めている。      | 19.2 | 80.8 | 0.0  | 0.0 | 100  |
|    | 保護者 | 10 | 学校は歯磨き、うがいなど病気やけがの防止に努めていますか。         | 43.3 | 48.5 | 1.7  | 0.0 | 91.8 |
|    | 児童  | 12 | 歯みがき、手洗い、うがいがしっかりできましたか。              | 71.2 | 25.3 | 2.8  | 0.6 | 96.5 |
|    | 児童  | 13 | 早ね早おき、朝ごはん、朝トイレがしっかりできましたか。           | 58.2 | 34.2 | 5.7  | 1.9 | 92.4 |
| 15 | 教職員 | 15 | 体育や「一校一実践」を通してたくましい体づくりを推進している。       | 3.8  | 76.9 | 19.2 | 0.0 | 80.7 |
|    | 保護者 | 11 | 学校は縄跳び運動や体育などで、児童の健康づくり体力づくりに努めていますか。 | 42.4 | 46.3 | 5.6  | 0.0 | 88.7 |
|    | 児童  | 14 | 休み時間に、外遊びや進んで運動に取り組むことができましたか。        | 57.9 | 19.3 | 13.3 | 9.5 | 77.2 |

#### <考察>

##### 【No. 14】

- ・感染症対策として、うがいや手洗い、換気の実施、二酸化炭素濃度測定器や空気清浄機の設置等を行った。衛生・安全面に配慮したきめ細かな指導により、安全な生活環境づくりに努めてきた。「早寝早起き、朝ごはん、朝トイレ」も、9割以上の児童がしっかりできたと回答している。基本的な生活習慣の確立に向けて、「保健だより」等を通じて、家庭との連携を図りながら、今後も児童の健康の保持に努めていく。

##### 【No. 15】

- ・「体力づくり」について、業間休みに外で元気に遊ぶ児童の姿が見られるが、日常的に室内で過ごす児童もおり、外遊びや運動を行う児童は77%とやや低い数値となっている。今年度は、一校一実践の取組として業前活動や体育の授業における縄跳びを行ったほか、児童会主催の外遊び活動等、児童の体力増進を目指した取組を行った。今年度の体力テストの結果では、上体起こしや50m走に向上が見られる。一方、握力や立ち幅跳び、ボール投げ、シャトルランには課題が見られる。児童の実態に合わせた目標を設定して取組を充実するとともに、今後も年間を通じた体力づくりに計画的に取り組んでいく必要がある。

## 6 危機管理

| No. | 評価者 | 番号                             | 質問項目  | 1    | 2    | 3   | 4    | 肯定的  |
|-----|-----|--------------------------------|---|------|------|-----|------|------|
| 16  | 教職員 | 16                             | 危機管理については学校だけで対応するのでは、保護者・地域・関係機関と連携して対応している。       | 19.2 | 80.8 | 0.0 | 0.0  | 100  |
|     | 保護者 | 12                             | 学校は地域・保護者と協力しながら、防災や不審者対応に取り組んでいますか。                | 44.2 | 45.9 | 4.3 | 0.9  | 90.1 |
| 17  | 教職員 | 17                             | 「自分の身は自分で守る」という意識を定着させ、防災教育、交通安全・不審者対応の安全指導を徹底している。 | 30.8 | 65.4 | 3.8 | 0.0  | 96.2 |
|     | 保護者 | 13                             | 学校は交通安全や防犯防災教育を通して「自分の身は自分で守る」という意識を育てていますか。        | 36.8 | 52.4 | 3.9 | 0.4  | 89.2 |
|     | 児童  | 15                             | 命を大切にして、安全に登校や下校ができましたか。                            | 86.1 | 12.7 | 1.3 | 0.0  | 98.8 |
| 16  |     | 地しんなどの災害が起こった時、どうすればよいかわかりますか。 | 80.7  | 18.4 | 0.6  | 0.3 | 99.1 |      |

### <考察>

#### 【No. 16】

・引き渡し訓練や通学路点検で緊急時の対応や日常的な危険箇所を親子で確認することができた。また、見守り隊の方々に日々登下校の見守りを行っていただき、学校と保護者、地域が連携して、児童の安全を確保できている。不審者情報があった場合には、教師の見守りや集団下校の実施、安心メールでの情報共有を行い、緊急時の対応ができている。今後も、家庭や地域と連携しながら、危機管理の徹底を図っていく。

#### 【No. 17】

・避難訓練や町別集会の他、外部機関の協力を得て防犯教室や交通安全教室を行い、防災や交通安全について定期的に指導を行った。避難訓練については、年間計画を立てて実施しているが、教職員・児童ともにさらなる危機管理意識を高めるために、想定を変えた避難訓練を行う必要もある。来年度の計画に反映させ、危機管理マニュアルの見直しを図っていく。

## 7 学校、家庭、地域の連携

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目                                     | 1    | 2    | 3    | 4    | 肯定的  |
|-----|-----|----|--|------|------|------|------|------|
| 18  | 教職員 | 18 | 保護者や地域と連携した教育活動を推進している。                  | 23.1 | 73.1 | 3.8  | 0.0  | 96.2 |
|     | 保護者 | 15 | 学校は必要な情報発信、授業参観など「開かれた学校づくり」に取り組んでいますか。  | 45.5 | 47.6 | 5.6  | 0.4  | 93.1 |
|     | 児童  | 17 | 地域の行事に参加していますか。                          | 32.3 | 32.6 | 23.1 | 12.0 | 64.9 |
| 19  | 教職員 | 19 | 必要な情報発信をするとともに、地域や保護者からの連絡や相談に適切に対応している。 | 34.6 | 65.4 | 0.0  | 0.0  | 100  |
|     | 保護者 | 14 | 学校は子どもの悩みや保護者の願いなど相談にのってくれますか。           | 45.5 | 46.3 | 6.1  | 0.9  | 91.8 |

### <考察>

#### 【No. 18】

・学校便りや学年便り、ホームページ等を通して、学校や児童の様子を定期的に発信している。また今年度は、教室で授業参観を行い、「まいづるまつり」ではチャレンジ集会やオンライン講演会等を実施し、児童の様子を保護者や地域の方に伝えることができた。また、今年度、学校運営協議会を設置し、「学習支援」「行事支援」「安全支援」の3つの支援をいただいている。今後は、教育活

動の充実のために何が大切かを検討するなかで、学校、家庭、地域が連携しながら持続可能な学校行事等の在り方を考えていく必要がある。一方で児童の地域行事への参加率は6割と低い。新型コロナウイルス感染症が5類となり、地域の行事も徐々に元に戻りつつある。地域のなかで健やかに児童の育成が図れるよう学校も連携していく。

**【No. 19】**

- 地域や保護者からの相談に丁寧に対応してきたと考えている。自分から相談できない児童もいることから、学級担任等が日々の観察や声掛けから児童の変化に気づけるようにし、友だちアンケートやQ-U等を通して児童の状況を把握するように努めていく。保護者は肯定的な回答が多く、教職員は受容的な対応や丁寧な指導、支援をしているとの記述が見られた。

**8 働き方改革**

| No. | 評価者 | 番号 | 質問項目                        | 1   | 2    | 3    | 4    | 肯定的  |
|-----|-----|----|-----------------------------|-----|------|------|------|------|
| 20  | 教職員 | 20 | タイムマネジメントを意識し、効率のよい働き方に努めた。 | 7.7 | 57.7 | 23.1 | 11.5 | 65.4 |

<考察>

- 教職員の評価は6割と低い。全体的に在校等時間が長いため、引き続き改善を図る必要がある。今年度は行事の精選を行い、各学年の校外学習を年1回にして、充実した校外学習を実施した。また、会議の精選、スクールサポートスタッフの効果的な活用、定時退庁日の設定等に取り組んだ。新しい教育課題への対応等もあり改善が進まない現状があるが、教職員の意識改革も必要である。現状や課題を分析しながら、子ども達に向き合う時間の確保、教職員の心身の健康の保持のために、働き方改革に向けた具体的な改善策を講じていく。